

2015年8月24日

各位

国際シンポジウム「世界考古学の現状と課題」開催のお知らせ

2016年8月に京都で開催される第8回世界考古学会議（WAC-8）まで約1年を残すこととなりました。今回、世界考古学会議（WAC）の執行部メンバーを京都にお招きし、世界考古学の最新の動向を学ぶと共に、日本考古学の未来を共に考えるためのシンポジウムを、下記の通り開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

記

日時：2015年9月19日（土）10:00～17:30

会場：京都大学文学部新館2階 第3講義室

会場までの交通

- ・市バス：京都駅より17・206系統、四条河原町より3・17・201系統

いずれも「百万遍」下車すぐ

- ・京阪電車：出町柳下車、東へ徒歩10分

使用言語：日本語（英語発表は通訳付き）

*詳細なプログラムは裏面をご参照ください。

*シンポジウム後に、懇親会を開催します（会費5000円程度の予定）。参加希望者は9月12日までに下記のお問い合わせ先までメールでお申し込みください。

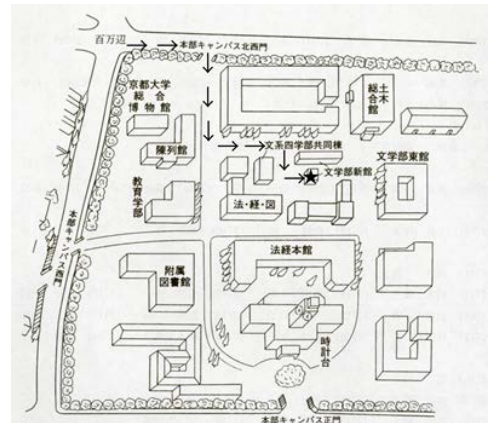
主催：国際シンポジウム「世界考古学の現状と課題」実行委員会

共催：京都大学考古学研究室・NPO法人 WAC JAPAN

後援：公益財団法人 京都大学教育研究振興財団

お問い合わせ先：吉井秀夫（京都大学大学院文学研究科）

kiljong@mb3.seikyou.ne.jp



プログラム：

10:00-10:10 開会挨拶 吉井秀夫（京都大学）

10:10-11:10 Anne Pyburn (Indiana University)

The Revolution in Archaeology and the Future of Science

(考古学における革命と科学の未来)

11:10-12:10 Dru McGill (North Carolina State University)

Archaeologists Across Borders: Expectations and Hopes for the Eighth
World Archaeological Congress

(越境する考古学者たち：WAC-8 への期待と希望)

12:10-13:30 昼食・休憩

13:30-14:10 岡村勝行（大阪文化財研究所）

The archaeology of disaster: how can Japanese archaeologists
contribute to it?

(災害の考古学：日本考古学の役割と貢献を考える)

14:10-14:50 溝口孝司（九州大学）

Globalization, Internationalization and the future of Japanese
Archaeology

(グローバル化・国際化と日本考古学の未来)

14:50-15:30 松田陽（University of East Anglia）

Public archaeology in a globalizing world and the future of WAC

(グローバル化の進む世界におけるパブリックアーケオロジーと世界
考古学会議)

15:30-16:00 休憩

16:00-17:30 討論 司会 泉拓良（京都大学）

18:00 懇親会